

報道関係者 各位

平成29年5月25日

【照会先】 秋田労働局健康安全課  
課 長 齋藤孝一  
主任安全専門官 伊藤 武  
(電話) 018-862-6683

## 平成28年における労働災害の発生状況

秋田労働局（局長 松本安彦）は、平成28年（1月～12月）の労働災害発生状況を別紙のとおり取りまとめました。

概要は、次のとおりです。

（概要）

### 1 死傷者数は、大幅に増加 その原因は「転倒災害」の増加

秋田県内における平成28年の労働災害の死傷者数（休業4日以上。以下同じ。）は984人で、平成27年（以下「前年」という。）より49人（5.2%）増加しました。《資料1、2》

業種別の死傷者数は、製造業が193人（前年比5.5%増）と最も多く、次いで建設業が190人（同6.4%減）、商業が175人（同17.4%増）、保健衛生業117人（同15.8%増）、運輸交通業97人（同21.3%増）などとなっています。

平成28年は多くの業種で増加しており、運輸交通業が21.3%増、商業が17.4%増、保健衛生業15.8%増など増加率の大きい業種があります。

また、転倒災害が前年より54人増加し、全業種の増加の主因となっています。

《資料1、3》

### 2 死亡者数は12人と前年より7人減少。

労働災害の死亡者数（死傷者数の内数。以下同じ。）は12人で、前年より7人減少しました。建設業の死亡災害は前年の11人から5人に半減しています。《資料1、4》

### 3 総じて、商業、保健衛生業などの第三次産業、運輸交通業などが増加傾向にあるのは全国的な傾向と同じであり、秋田労働局及び県内各労働基準監督署では、この結果を踏まえ、今年度、複数の店舗・施設を展開する企業等に対する本社等の指導を強化します。

また、労働災害の中で転倒災害が26%を超える状況にあることから、転倒災害防止対策について、講習会等の場で、ポスター、パンフレットを用いて周知を図っていきます。《資料7》

## 1 労働災害発生状況（全体、業種別）

### （１）全業種合計

《資料１、２》

平成 28 年の労働災害による死傷者数は、984 人となり、前年に比べ 49 人（5.2%）増加しました。

ここ 10 年は年間 1,000 人前後で増減を繰り返しながら微減の傾向を示し、前年は 935 人と過去最少でしたが、平成 28 年は増加に転じました。

一方、死亡者数は、近年、概ね十数人台で増減を繰り返していましたが、平成 28 年は 12 人となり、前年の 19 人からは大幅に減少しました。

### （２）主要業種別の発生状況

《資料１、３、４》

主要業種ごとに発生状況をみると、多い順に、①製造業 193 人（災害全体の 19.6%）、②建設業 190 人（同 19.3%）、③商業 175 人（同 17.8%）、④保健衛生業 117 人（同 11.9%）、⑤運輸交通業 97 人（同 9.9%）などとなっています。

製造業の死傷者数が最多になったのは 8 年ぶりで、7 年連続最多であった建設業が前年に引き続き過去最少を更新したのとは対照的に製造業が増加に転じたためです。

各業種の労働災害の傾向は次のとおりです。

#### ●製造業

死傷者数は 193 人（前年比 5.5% 増）と増加に転じました。製造業の死傷者数は長期的には減少傾向を示しており、10 年前（平成 19 年）と比べると 24.6% 減少しています。死亡者数は 2 人で、前年と同数となっています。

#### ●建設業

死傷者数は 190 人（前年比 6.4% 減）と前年から大幅に減少しました。建設業の死傷者数は長期的に大幅な減少傾向にあり、10 年前（平成 19 年）に比べて 21.5% 減少しており、190 人は、建設業として、前年に引き続き過去最少です。

一方、死亡者数は 5 人（前年比 6 人減）と大幅に減少していますが、全業種の死亡災害のうち 41.7% を建設業が占めるなど依然として大きな割合となっています。

#### ●商業

死傷者数は 175 人（前年比 17.4% 増）と大幅に増加しました。長期的には、増減を繰り返している傾向にあります。死亡者数は 3 人（前年比 3 人増）で、いずれも交通事故によるものです。

#### ●保健衛生業（介護関係事業場を含む）

死傷者数は 117 人（前年比 15.8% 増）と前年から大幅に増加しています。老人介護施設など社会福祉施設の事業者数、就業者数が大幅に増加していることもあり、死傷者数も明らかな増加傾向にあります。

#### ●運輸交通業

死傷者数は 97 人（前年比 21.3% 増）となりました。就業者数は増加していませんが、ネット通販などの増加により取扱荷物数は確実に増加しており、死傷者数は減少傾向にあるとは言えず、基本的には増減を繰り返している傾向があります。

#### ●林業

死傷者数は 40 人（前年比 13.0% 減）と前年から減少しています。

死亡者数は 1 人で、前年から 2 人減となっています。

## 2 労働災害の類型（事故の型別、年齢別）

### （１）事故の型別分類

《資料5》

労働災害の発生態様を事故の型別にみると、多い順に、①転倒263人（災害全体の26.7%）、②墜落・転落169人（同17.2%）、③はさまれ・巻き込まれ124人（同12.6%）、④動作の反動・無理な動作85人（同8.6%）、⑤交通事故78人（同7.9%）⑥切れ・こすれ77人（同7.8%）などとなっています。

事故の型別の傾向は次のとおりです。

#### ●転倒災害

《資料6》

床や通路での「転倒」による死傷者数は263人で、災害全体の中で最も多い事故の型となっています。前年からの増加は54人と全産業の死傷者数の前年からの増加者数49人を上回っており、全体の増加の主因となっています。

転倒災害を業種別にみると、①商業73人、②保健衛生業55人、③製造業33人、第三次産業で比較的多く発生しています。

また、転倒災害の発生時期をみると、①1月46人、②2月49人、③12月40人などこの3か月で合計135人が被災しており、前年のこの期間に84人が被災していたことと比べて平成28年に冬季間の転倒災害が多発し、年間の全産業の労働災害の数を押し上げていたことが明らかになりました。冬季間の床や路面の凍結による災害が多発していることが積雪地域である秋田県の特徴となっています。なお、冬季以外にも、毎月10～20人程度の転倒災害が発生しています。

#### ●墜落・転落災害

高所からの「墜落・転落」による死傷者数は169人で、このうち、建設業が82人と全体の48.5%を占めています。その中でも、木造家屋建築工事業で46人と多発しているのが特徴です。木造家屋建築工事における墜落・転落による死亡者数は2人でした。

また、運輸交通業では、荷台やプラットホームからの墜落・転落が目立っています。

#### ●はさまれ・巻き込まれ災害

機械等での「はさまれ・巻き込まれ」による死傷者数は124人で、前年から大幅に増加しました。このうち、製造業で61人と全体の49.2%を占めており、コンベヤーや食品加工用機械による災害が目立っています。

#### ●動作の反動・無理な動作災害

「動作の反動・無理な動作」による死傷者数は85人で、前年の108人から大幅に減少しました。その多くは重量物を無理に持ち上げたり支えたりする際の災害性腰痛の事例であり、業種別では介護関係事業場を含む保健衛生業で26人と最も多く発生しています。減少はしましたが、ここ10年は、100人前後で推移しており、他の災害が減少している中、発生可能性の高い保健衛生業の就業者数が増加していること、高年齢者が増加していることなどから増加傾向は高いものと考えられます。

#### ●交通労働災害

業務中の交通事故による死傷者数は78人で、前年の53人から大幅に増加しています。業種別では、商業20人、建設業13人、運輸交通業9人、金融・広告業9人などの状況であり、運輸交通業以外の業種での発生が目立っています。死亡災害は商業で3人、建設業で1人となっています。

#### ●切れ・こすれ災害

回転する刃物などでの「切れ・こすれ」による死傷者数は77人で、木工機械や食品加工用機械、建築工事現場での電動工具などの歯の部分と身体に接触させる災害が

多くなっています。また、小売業や飲食業のバックヤードにおいて、食品カッターやスライサー、包丁などにより手指を欠損・挫滅する災害も増えています。

## (2) 年齢別発生状況

《資料6》

死傷者の年齢構成をみると、多い順に、①「60歳以上」272人（27.6%）②「50～59歳」252人（25.8%）、③「40～49歳未満」177人（18.0%）などとなっており、50歳以上の死傷者数が全体の半数以上を占めています。

特に、60歳以上の高齢者の死傷者数は、平成22年以降増加傾向がみられます。

定年延長や再雇用など70歳台の労働者も珍しくなくなるなど就労機会の増加に伴い、各職場においては、高齢者の特質を踏まえた安全衛生対策の推進が課題となっています。

## 3 秋田労働局における取組

秋田労働局では、秋田県内における近年の労働災害の発生状況を踏まえ、平成25年度から29年度までの5年間の計画期間とする「第12次労働災害防止計画」を策定し、平成25年4月からスタートしています。

平成29年度においては、業種横断的な取り組みとして、転倒災害防止対策、交通労働災害防止対策などの労働災害防止対策を進めます。また、建設業、製造業、林業などの重篤な災害が多い重点業種に対し、継続的な取り組みを実施します。業種横断的な取り組みの中で最も重点とするのは、転倒災害防止対策です。秋田労働局では、秋田県の特徴である冬季の転倒による労働災害防止を目指して平成24年度から「転倒災害防止プロジェクトチーム」を立ち上げ、作成したポスター等を、県内の事業所に配布し、凍結路面での歩行や靴の選定などについて注意を喚起する取り組みを行ってきましたが、厚生労働省としても全国で「STOP！転倒災害プロジェクト」を展開しており、その手法も取り入れ、より効果的な展開を図ります。

建設業に対しては、高所からの墜落・転落や土砂崩壊災害防止、現場での安全管理の徹底等を重点として、現場への指導監督等を強化します。併せて、職種別団体に対する安全講習会の実施、災害防止団体と連携した合同パトロールを実施するほか、安全衛生経費に配慮した発注の促進等発注機関とも連携を図ります。

製造業に対しては、製造機械に巻き込まれる等の災害を防止するため、引き続き、接触防止措置の徹底等、機械の安全化の指導を行います。

近年、死傷者数が増加傾向にある第3次産業の労働災害増加に歯止めをかけるため、これらの業種に特徴的な災害である「転倒」「災害性腰痛」「食品機械での切れ・こすれ」などを重点とした災害防止講習会の開催や個別指導を実施し、各事業所での災害防止の取り組みを促進します。また、多店舗展開する企業の本社へに対し、自主的な安全衛生管理活動の促進などの取り組みの指導を強化します。

### 【添付資料一覧】

- |     |                            |
|-----|----------------------------|
| 資料1 | 「平成28年労働災害発生状況（確定値）」       |
| 資料2 | 「労働災害発生状況の推移（秋田県、全国）」      |
| 資料3 | 「主要業種別死傷者数の推移（平成19年～）」     |
| 資料4 | 「平成28年 死亡災害発生状況」（確定）       |
| 資料5 | 「事故の型別発生状況等」               |
| 資料6 | 「業種別災害発生状況等」               |
| 資料7 | 「STOP！転倒災害 プロジェクト」（パンフレット） |



平成28年労働災害発生状況（確定値）

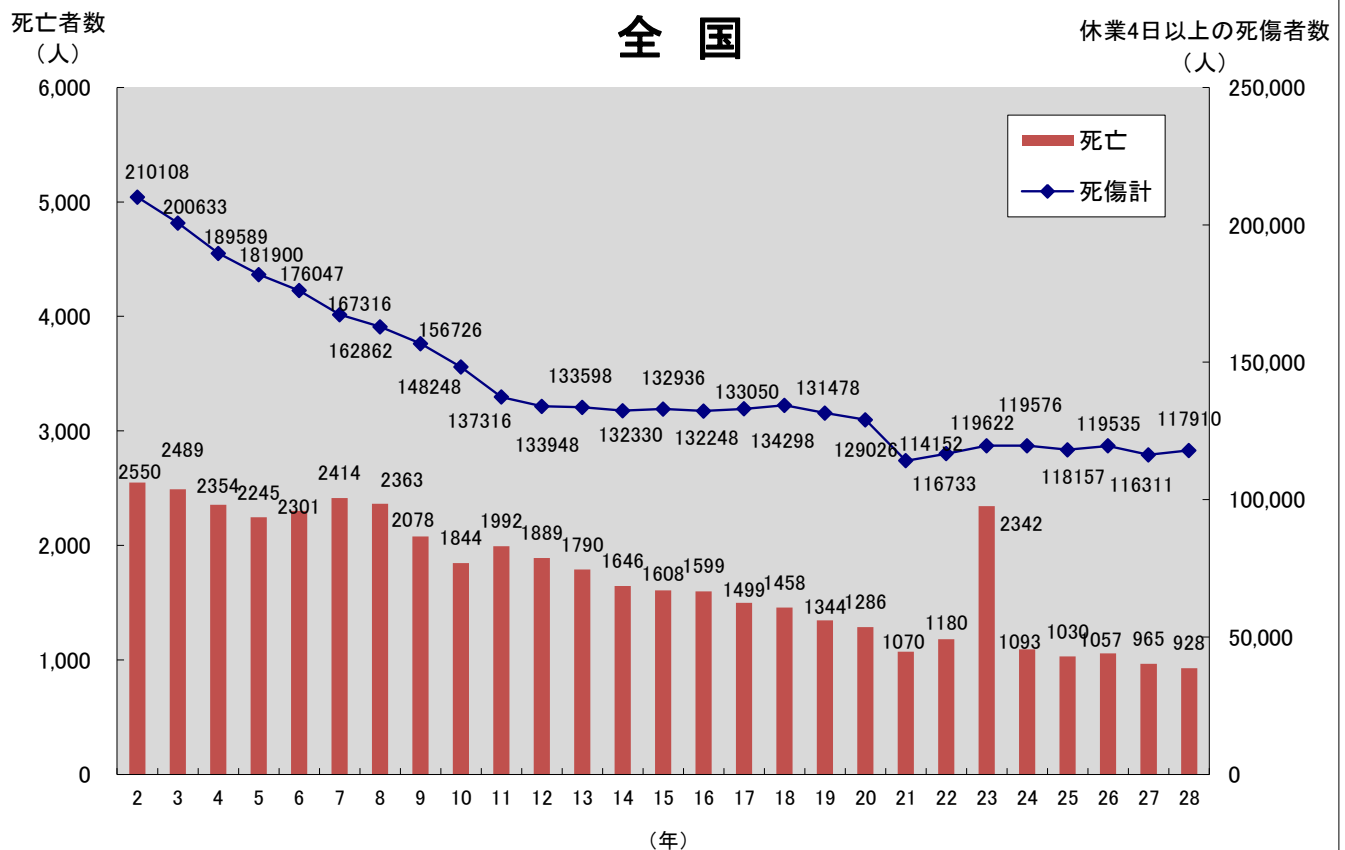
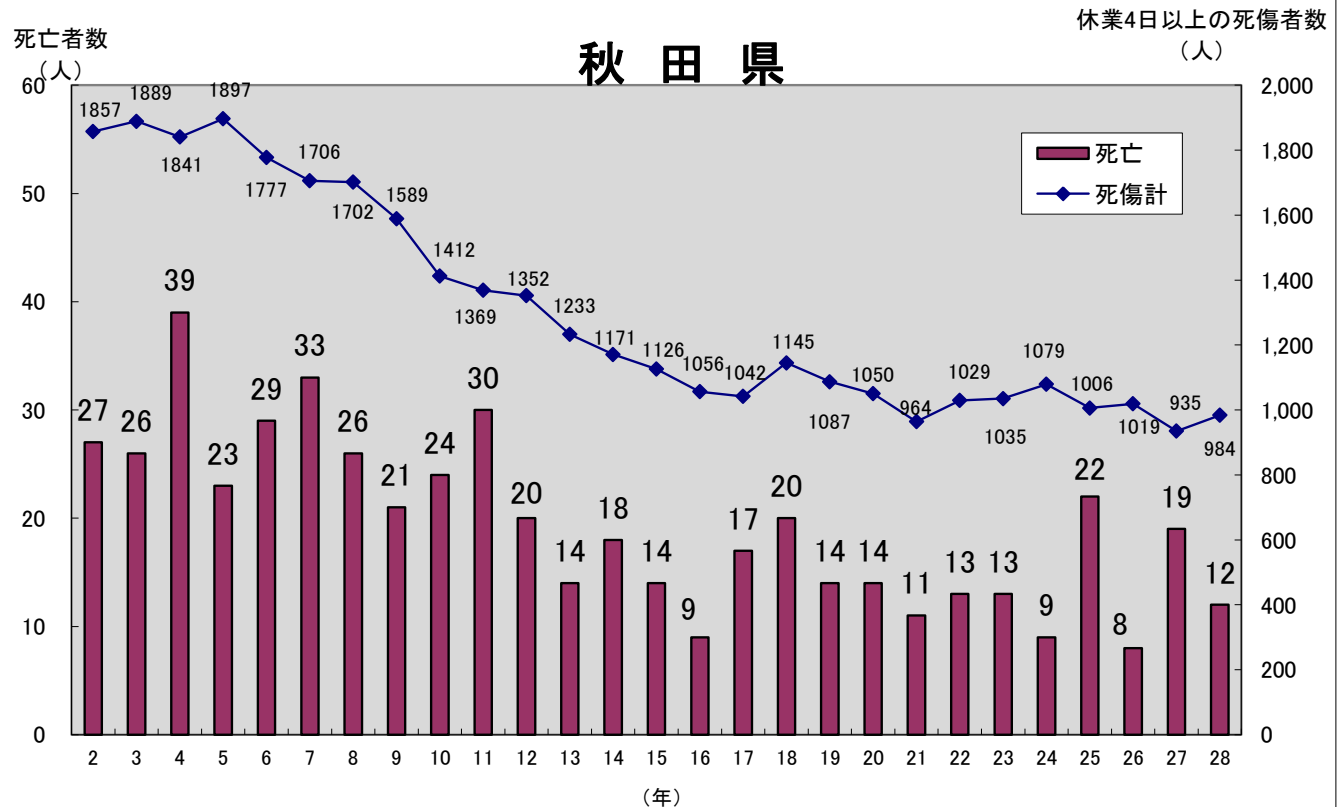
秋田労働局  
(平成29年4月10日作成)

| 号別                          | 業種別 | 年別<br>災害別 | 平成26年  |            | 平成27年  |            | 平成28年  |            | 前年増減   |            | 秋田署    |            |        |            | 能代署    |            |        |            | 大館署    |            |        |            | 横手署    |            |        |            | 大曲署    |            |        |            | 本荘署    |            |        |            |
|-----------------------------|-----|-----------|--------|------------|--------|------------|--------|------------|--------|------------|--------|------------|--------|------------|--------|------------|--------|------------|--------|------------|--------|------------|--------|------------|--------|------------|--------|------------|--------|------------|--------|------------|--------|------------|
|                             |     |           |        |            |        |            |        |            |        |            | 27年    |            | 28年    |            | 27年    |            | 28年    |            | 27年    |            | 28年    |            | 27年    |            | 28年    |            | 27年    |            | 28年    |            | 27年    |            | 28年    |            |
|                             |     |           | 死<br>亡 | 休業4<br>日以上 | 死<br>亡 | 休業4<br>日以上 | 死<br>亡 | 休業4<br>日以上 | 件<br>数 | 百分率<br>(%) | 死<br>亡 | 休業4<br>日以上 | 死<br>亡 | 休業4<br>日以上 | 死<br>亡 | 休業4<br>日以上 | 死<br>亡 | 休業4<br>日以上 | 死<br>亡 | 休業4<br>日以上 | 死<br>亡 | 休業4<br>日以上 | 死<br>亡 | 休業4<br>日以上 | 死<br>亡 | 休業4<br>日以上 | 死<br>亡 | 休業4<br>日以上 | 死<br>亡 | 休業4<br>日以上 | 死<br>亡 | 休業4<br>日以上 | 死<br>亡 | 休業4<br>日以上 |
| 1～17 全業種合計                  |     |           | 8      | 1019       | 19     | 935        | 12     | 984        | 49     | 5.2        | 1      | 336        | 5      | 370        |        | 66         | 1      | 79         | 7      | 210        | 3      | 205        | 3      | 135        | 1      | 136        | 7      | 101        | 2      | 105        | 1      | 87         |        | 89         |
| 1 製造業                       |     |           |        | 203        | 2      | 183        | 2      | 193        | 10     | 5.5        | 1      | 65         | 2      | 63         |        | 9          |        | 26         |        | 53         |        | 36         |        | 20         |        | 33         | 1      | 19         |        | 16         |        | 17         |        | 19         |
| 食料品製造業                      |     |           |        | 54         |        | 45         |        | 46         | 1      | 2.2        |        | 19         |        | 14         |        |            |        | 8          |        | 10         |        | 9          |        | 6          |        | 9          |        | 8          |        | 4          |        | 2          |        | 2          |
| 木材・木製品製造業                   |     |           |        | 43         | 1      | 36         |        | 47         | 11     | 30.6       | 1      | 13         |        | 13         |        | 2          |        | 11         |        | 13         |        | 15         |        | 2          |        | 3          |        | 5          |        | 3          |        | 1          |        | 2          |
| 鉄鋼・非鉄・金属製品製造業               |     |           |        | 33         |        | 39         |        | 31         | -8     | -20.5      |        | 15         |        | 16         |        | 1          |        | 3          |        | 13         |        | 4          |        | 1          |        | 4          |        | 2          |        | 1          |        | 7          |        | 3          |
| 一般・輸送用機械器具製造業               |     |           |        | 17         |        | 15         | 2      | 17         | 2      | 13.3       |        | 2          | 2      | 4          |        | 2          |        |            |        | 6          |        | 1          |        | 3          |        | 5          |        | 1          |        | 4          |        | 1          |        | 3          |
| 電気機械器具製造業                   |     |           |        | 8          |        | 7          |        | 13         | 6      | 85.7       |        | 1          |        | 3          |        |            |        |            |        | 1          |        |            |        |            | 3      |            | 1      |            | 2      |            | 4      |            | 5      |            |
| 上記以外の製造業                    |     |           |        | 48         | 1      | 41         |        | 39         | -2     | -4.9       |        | 15         |        | 13         |        | 4          |        | 4          |        | 10         |        | 7          |        | 8          |        | 9          | 1      | 2          |        | 2          |        | 2          |        | 4          |
| 2 鉱業(鉱安法適用を除く)              |     |           | 1      | 6          |        | 3          |        | 2          | -1     | -33.3      |        | 1          |        |            |        | 1          |        |            |        |            |        | 1          |        |            |        | 1          |        |            |        |            | 1      |            |        |            |
| 3 建設業                       |     |           | 5      | 248        | 11     | 203        | 5      | 190        | -13    | -6.4       |        | 47         | 1      | 56         |        | 20         | 1      | 13         | 6      | 59         | 2      | 42         | 2      | 30         |        | 25         | 3      | 21         | 1      | 27         |        | 26         |        | 27         |
| 土木工事業                       |     |           | 1      | 68         | 5      | 76         | 2      | 50         | -26    | -34.2      |        | 15         | 1      | 18         |        | 8          |        | 2          | 2      | 21         | 1      | 11         | 2      | 14         |        | 11         | 1      | 9          |        | 1          |        | 9          |        | 7          |
| 建築工事業                       |     |           | 3      | 154        | 6      | 115        | 2      | 116        | 1      | 0.9        |        | 24         |        | 34         |        | 10         | 1      | 10         | 4      | 37         | 1      | 22         |        | 16         |        | 14         | 2      | 12         |        | 22         |        | 16         |        | 14         |
| 鉄骨・鉄筋家屋建築                   |     |           | 1      | 24         | 1      | 24         |        | 22         | -2     | -8.3       |        | 7          |        | 10         |        | 2          |        | 1          | 1      | 9          |        | 1          |        | 2          |        | 1          |        | 1          |        | 4          |        | 3          |        | 5          |
| 木造家屋建築                      |     |           | 2      | 91         | 5      | 78         | 2      | 71         | -7     | -9.0       |        | 12         |        | 16         |        | 7          | 1      | 5          | 3      | 23         | 1      | 16         |        | 14         |        | 11         | 2      | 11         |        | 17         |        | 11         |        | 6          |
| その他の建設業                     |     |           | 1      | 26         |        | 12         | 1      | 24         | 12     | 100.0      |        | 8          |        | 4          |        | 2          |        | 1          |        | 1          |        | 9          |        |            |        |            |        | 1          | 4      |            | 1      |            | 6      |            |
| 4 運輸交通業                     |     |           |        | 100        | 1      | 80         |        | 97         | 17     | 21.3       |        | 41         |        | 48         |        | 6          |        | 6          | 1      | 11         |        | 18         |        | 8          |        | 16         |        | 4          |        | 7          |        | 10         |        | 2          |
| 道路貨物運送業                     |     |           |        | 83         |        | 68         |        | 79         | 11     | 16.2       |        | 31         |        | 35         |        | 6          |        | 5          |        | 10         |        | 18         |        | 8          |        | 15         |        | 4          |        | 4          |        | 9          |        | 2          |
| 5 貨物取扱業                     |     |           |        | 1          |        | 3          |        | 1          | -2     | -66.7      |        | 3          |        | 1          |        |            |        |            |        |            |        |            |        |            |        |            |        |            |        |            |        |            |        |            |
| 6-2 林業                      |     |           |        | 38         | 3      | 46         | 1      | 40         | -6     | -13.0      |        | 3          |        | 5          |        | 6          |        | 3          |        | 15         | 1      | 9          | 1      | 12         |        | 10         | 2      | 6          |        | 6          |        | 4          |        | 7          |
| 8 商業                        |     |           | 1      | 156        |        | 149        | 3      | 175        | 26     | 17.4       |        | 67         | 2      | 69         |        | 6          |        | 13         |        | 20         |        | 37         |        | 23         |        | 22         |        | 20         | 1      | 23         |        | 13         |        | 11         |
| 小売業                         |     |           | 1      | 128        |        | 126        | 1      | 132        | 6      | 4.8        |        | 59         |        | 44         |        | 6          |        | 12         |        | 17         |        | 25         |        | 15         |        | 19         |        | 17         | 1      | 21         |        | 12         |        | 11         |
| 13 保健衛生業                    |     |           |        | 110        |        | 101        |        | 117        | 16     | 15.8       |        | 35         |        | 51         |        | 12         |        | 12         |        | 27         |        | 25         |        | 10         |        | 12         |        | 9          |        | 9          |        | 8          |        | 8          |
| 社会福祉施設                      |     |           |        | 82         |        | 75         |        | 87         | 12     | 16.0       |        | 25         |        | 33         |        | 7          |        | 10         |        | 24         |        | 24         |        | 6          |        | 9          |        | 8          |        | 6          |        | 5          |        | 5          |
| 14 接客娯楽業                    |     |           |        | 44         |        | 56         | 1      | 50         | -6     | -10.7      |        | 23         |        | 23         |        | 3          |        | 3          |        | 8          |        | 9          |        | 13         | 1      | 7          |        | 6          |        | 5          |        | 3          |        | 3          |
| 飲食店                         |     |           |        | 12         |        | 26         |        | 26         | 0      | 0.0        |        | 12         |        | 12         |        | 2          |        | 1          |        | 1          |        | 5          |        | 7          |        | 4          |        | 2          |        | 2          |        | 2          |        | 2          |
| 15 清掃・と畜業                   |     |           | 1      | 35         |        | 38         |        | 45         | 7      | 18.4       |        | 20         |        | 24         |        |            |        |            |        | 7          |        | 9          |        | 6          |        | 4          |        | 5          |        | 4          |        |            |        | 4          |
| 上記以外の事業<br>6-1、7、9～12、16、17 |     |           |        | 78         | 2      | 73         |        | 74         | 1      | 1.4        |        | 31         |        | 30         |        | 3          |        | 3          |        | 10         |        | 19         |        | 13         |        | 6          | 1      | 11         |        | 8          | 1      | 5          |        | 8          |

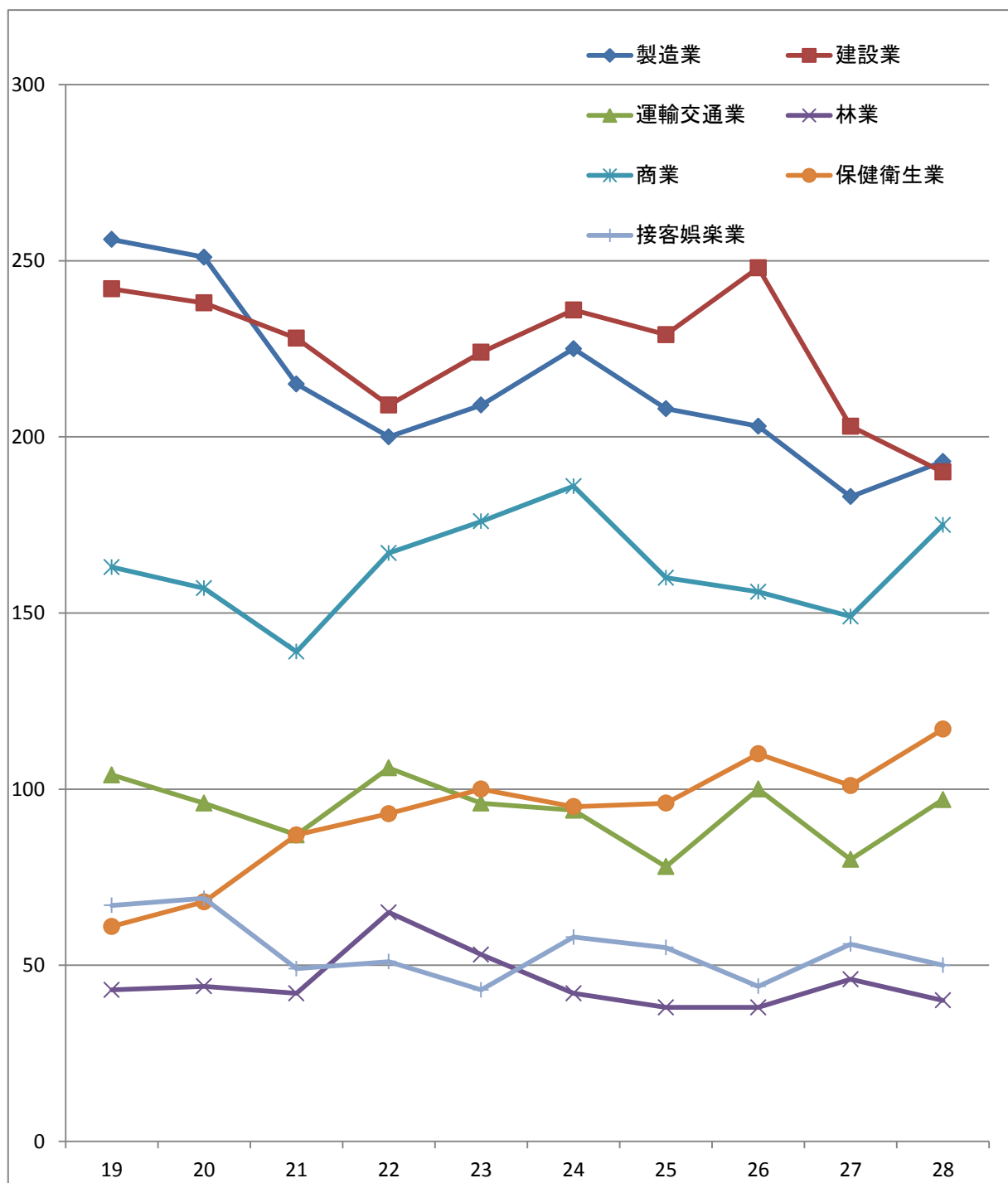
資料1

労働者死傷病報告（休業4日以上）を集計したもの。死亡は内数。

## 労働災害発生状況の推移



## 主要業種別死傷者数の推移



| 年別    | 19  | 20  | 21  | 22  | 23  | 24  | 25  | 26  | 27  | 28  |
|-------|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|
| 製造業   | 256 | 251 | 215 | 200 | 209 | 225 | 208 | 203 | 183 | 193 |
| 建設業   | 242 | 238 | 228 | 209 | 224 | 236 | 229 | 248 | 203 | 190 |
| 運輸交通業 | 104 | 96  | 87  | 106 | 96  | 94  | 78  | 100 | 80  | 97  |
| 林業    | 43  | 44  | 42  | 65  | 53  | 42  | 38  | 38  | 46  | 40  |
| 商業    | 163 | 157 | 139 | 167 | 176 | 186 | 160 | 156 | 149 | 175 |
| 保健衛生業 | 61  | 68  | 87  | 93  | 100 | 95  | 96  | 110 | 101 | 117 |
| 接客娯楽業 | 67  | 69  | 49  | 51  | 43  | 58  | 55  | 44  | 56  | 50  |

## 平成28年 死亡災害発生状況（確定）

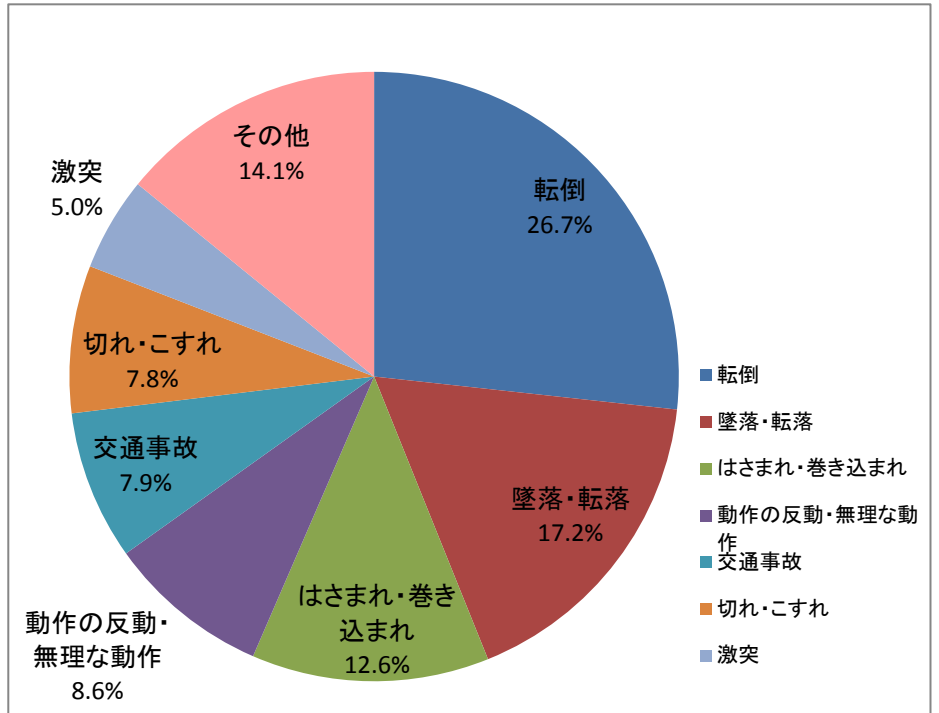
秋田労働局

| No | 署別 | 発生月 | 業種名                       | 年齢<br>経 験<br>(○年以上<br>○年未満) | 事故の型  | 起因物           | 発 生 状 況                                                                                                                                                                                    |
|----|----|-----|---------------------------|-----------------------------|-------|---------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 1  | 大館 | 3月  | 木材伐出業<br>(6-2-1)          | 60 歳代<br>(10～20 年)          | 墜落、転落 | 地山、岩石         | 伐倒木を集材するため、被災者を含む2名でブルドーザーのウインチから伸びる集材用ワイヤロープを引いて斜面を登っていたところ、被災者が地面に倒れ、斜面（斜度35度）を約6m転落し、頭部を地山に強打し9日後に死亡した。保護帽は転落中に外れていた。                                                                   |
| 2  | 秋田 | 3月  | 輸送用機械<br>等製造業<br>(1-15-2) | 50 歳代<br>(30～40 年)          | 激突され  | クレーン          | 工場に鋼材を搬入するためトラックを工場に入れ、被災者2名とトラック運転手の合計3名でトラックの荷台の鋼材を1m程離れたラックに天井クレーンで1束ずつ吊って運ぶ作業を行っていたところ、鋼材が大きく振れて、天井クレーンの操作を行っていた1名と荷振れ防止のため鋼材を支える等の補助作業を行っていた1名が鋼材に激突された。                              |
| 3  |    |     |                           | 50 歳代<br>(40～50 年)          |       |               |                                                                                                                                                                                            |
| 4  | 大曲 | 5月  | 電気通信<br>工事業<br>(3-3-1)    | 50 歳代<br>(10～20 年)          | 墜落、転落 | 解体用機械         | 送電用鉄塔工事において、被災者は土止めに使用する単管46本（約377kg）をブレーカの作業装置の上部に玉掛けワイヤーを掛けて吊りながら現場の資材置場から運搬していたが、幅4mの作業道で進行方向を変えるため旋回したところ、ブレーカが転倒し、作業道脇の高さ1.5mの土止めの柵を壊して谷側に転落した。被災者は運転席から投げ出され、転落したブレーカのアームと地面の間に挟まれた。 |
| 5  | 秋田 | 5月  | その他の<br>卸売業<br>(8-1-9)    | 40 歳代<br>(10～20 年)          | 交通事故  | 乗用車           | 会社から県外の営業先へ向かうため同僚が運転する社用車の後部座席左側に乗っていた際、信号のない市道の交差点に於いて、社用車側が一時停止の表示を見落とし交差点に進入したため、右から走行してきた車と衝突し、その後さらに左からきた車とも衝突。その衝撃で全身を強打したものの。                                                      |
| 6  | 大曲 | 6月  | 新聞販売業<br>(8-2-5)          | 50 歳代<br>(10～20 年)          | 交通事故  | 乗用車           | 早朝、新聞配達者宅やコンビニに新聞を配送し、販売店に戻る途中、運転する軽ワゴン車で国道の交差点に進入したところ、国道を左側から直進してきた大型トラックと衝突したものの。信号機の様子は不明。                                                                                             |
| 7  | 横手 | 7月  | 旅館業<br>(14-1-1)           | 20 歳代<br>(1～5 年)            | 火災    | その他の装<br>置、設備 | 旅館の早朝勤務に備えて従業員宿舎で就寝していたところ、同宿舎に隣接する物置小屋から出火し、従業員宿舎や本館などが全焼した。被災者は、逃げ遅れ、焼死体となって発見された。<br>出火原因と推定される薪ストーブは、暖を取るためのものではなく、煮炊き等の目的で日中のみ使用していたものの。                                              |
| 8  | 秋田 | 9月  | その他の<br>卸売業<br>(8-1-9)    | 30 歳代<br>(1～5 年)            | 交通事故  | 乗用車           | 秋田自動車道下り線において、訪問先から営業所に戻るため社用車（軽自動車）を運転中に単独事故により進行方向左側の路外に逸脱し、自動車道横の土手に衝突したものの。                                                                                                            |
| 9  | 大館 | 10月 | 木造家屋建<br>築工事業<br>(3-2-2)  | 60 歳代<br>(1～5 年)            | 墜落、転落 | 屋根            | 2階建て木造住宅の屋根板金葺き替え工事において、トタンの仮設置を終えたところで雨が降り出したため、当日の作業を中止しようとして道具を片付けていたところ、屋根上で足を滑らせ、2階屋根軒先から墜落。一旦、玄関屋根に墜落してから、アスファルト地面に墜落した。2階屋根の高さ約6m。                                                  |
| 10 | 能代 | 10月 | 木造家屋建<br>築工事業<br>(3-2-2)  | 70 歳代<br>(30～40 年)          | 墜落、転落 | 屋根            | 木造2階建て住宅のリフォーム工事で、1階屋根上（幅1.18m、勾配5.0度）において、被災者が2階外壁へ下地材の取付作業を行っていたところ、1階屋根から約4m下方のコンクリート地面へ墜落したものの。                                                                                        |
| 11 | 秋田 | 10月 | 橋梁建設工<br>事業<br>(3-1-5)    | 50 歳代<br>(30～40 年)          | 墜落、転落 | 建築物、構築<br>物   | 橋脚の耐震補強工事現場において、現場代理人が、早朝、現場が始まる前に工事現場の上方に位置する橋の欄干（既設）から現場の状況を確認するため身を乗り出した際、約2.1m下の地面に墜落したものの。                                                                                            |
| 12 | 大館 | 12月 | その他の<br>土木工事業<br>(3-1-9)  | 60 歳代<br>(5～10 年)           | 交通事故  | トラック          | 事務所に戻るため、幅4mの直線道路を走行中、凍結路面によりスリップし、道路右脇にある電話線引込柱に運転席ドアをこすりながら法面に乗り上げ、止まった時の衝撃でハンドルに胸部を激突した。                                                                                                |

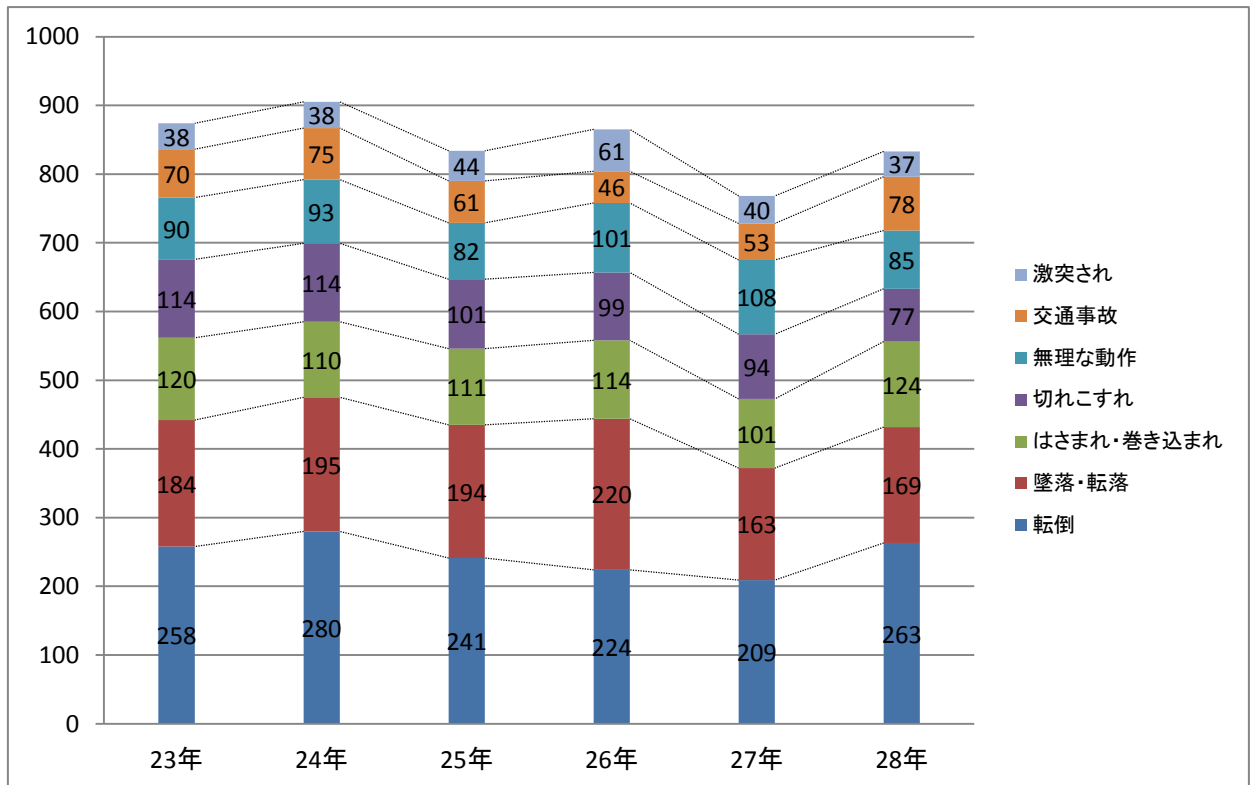


事故の型別労働災害発生状況

| 事故の型別       | 28年 |
|-------------|-----|
| 転倒          | 263 |
| 墜落・転落       | 169 |
| 動作の反動・無理な動作 | 85  |
| はさまれ・巻き込まれ  | 124 |
| 切れこすれ       | 77  |
| 交通事故        | 78  |
| 激突          | 49  |
| その他         | 139 |



事故の型別労働災害発生状況の推移





# STOP! 転倒災害

## プロジェクト

# STOP!転倒災害

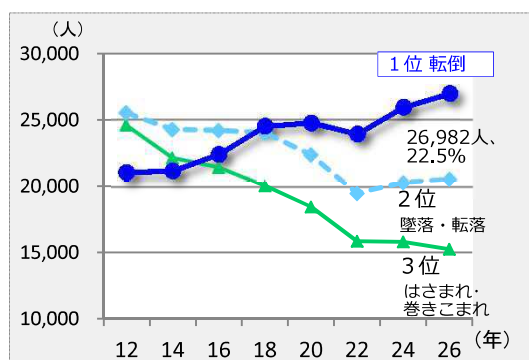
厚生労働省と労働災害防止団体では、**転倒災害**を撲滅するため「**STOP! 転倒災害プロジェクト**」を推進しています。

事業者の皆さまは、職場の**転倒災害防止対策**を進めていただくとともに、プロジェクトの重点取組期間（2月、6月）には、チェックリスト（最終ページ）を活用した**総点検**を行い、安全委員会などでの調査審議などを経て、**職場環境の改善**を図ってください。

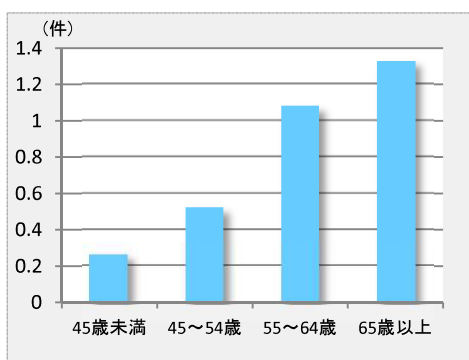
転倒災害は今、最も多い労働災害で、しかもその割合は年々増えています。また、長期の休業につながることも多く、深刻な問題になっています。

高年齢者ほど転倒災害のリスクが増加し、55歳以上では1,000人に1人以上が被災しています。

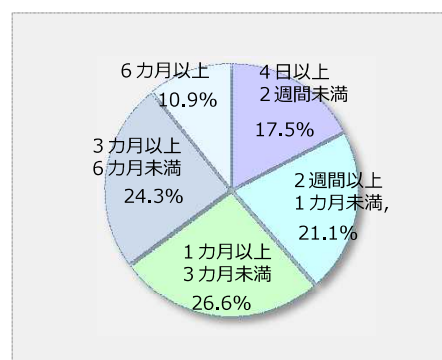
転倒災害による休業期間は、約6割が1カ月以上となっています。



平成26年 厚生労働省 労働者死傷病報告  
「事故の型別死傷者数の推移」



平成26年 労働者死傷病報告と総務省労働力調査  
「年齢別転倒災害の発生率」  
(労働者千人当たりの転倒災害発生件数)



平成26年 労働者死傷病報告  
「転倒災害による休業期間の割合」

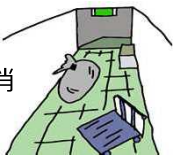
## 転倒災害の種類と主な原因

▶転倒災害は、大きく3種類に分けられます。皆さまの職場にも、似たような危険はありませんか？

| 滑り                                                                                                                                               | つまずき                                                                                                            | 踏み外し                                                                                  |
|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------|
|                                                               |                              |  |
| <p>&lt;主な原因&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・床が滑りやすい素材である。</li> <li>・床に水や油が飛散している。</li> <li>・ビニールや紙など、滑りやすい異物が床に落ちている。</li> </ul> | <p>&lt;主な原因&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・床の凹凸や段差がある。</li> <li>・床に荷物や商品などが放置されている。</li> </ul> | <p>&lt;主な原因&gt;</p> <p>大きな荷物を抱えるなど、足元が見えない状態で作業している。</p>                              |

# 転倒災害防止対策のポイント

▶ 転倒災害を防止することで、安心して作業が行えるようになり、作業効率も上がります。  
できるところから少しずつ取り組んでいきましょう。

| 4 S<br>(整理・整頓・清掃・清潔)                                                                                                                                                                             | 転倒しにくい作業方法<br>「あせらない 急ぐときほど 落ち着いて」                                                                                                                                                               | その他の対策                                                                                                                                                                                                   |
|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <ul style="list-style-type: none"><li>歩行場所に物を放置しない</li><li>床面の汚れ（水、油、粉など）を取り除く</li><li>床面の凹凸、段差などの解消</li></ul>  | <ul style="list-style-type: none"><li>時間に余裕を持って行動</li><li>滑りやすい場所では小さな歩幅で歩行</li><li>足元が見えにくい状態で作業しない</li></ul>  | <ul style="list-style-type: none"><li>作業に適した靴の着用</li><li>職場の危険マップの作成による危険情報の共有</li><li>転倒危険場所にステッカーなどで注意喚起</li></ul>  |

## <転倒しないための靴選びのポイント>

|               |                                                                      |                                                                                     |
|---------------|----------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------|
| サイズ           | 小さすぎても大きすぎても踏ん張りがきかずバランスを崩しやすくなります。                                  |  |
| 屈曲性           | 屈曲性が悪いとすり足になりやすく、つまづきの原因になります。                                       |                                                                                     |
| 重量            | 重すぎると足が上がりにくくなり、つまづきの原因になります。                                        |                                                                                     |
| 重量バランス（前後）    | つま先方向に重量が偏っていると、歩行時につま先が下がり、つまづきの原因になります。                            |                                                                                     |
| つま先部の高さ       | つま先の高さが低いと、ちょっとした段差にも、つまづきやすくなります。                                   |                                                                                     |
| 靴底と床の耐滑性のバランス | 作業場所や内容に合った耐滑性であることが重要です。例えば、滑りにくい床に滑りにくい靴底では摩擦が強くなりすぎてつまづきの原因になります。 |                                                                                     |

## 冬季は転倒災害が多発

▶ 積雪・凍結などによって転倒の危険性が高まる冬季は、以下の対策が重要です。

### ◇天気予報に気を配る

寒波が予想される場合などには、労働者に周知し、転倒しにくい靴の着用を指示するなど、早めの対策を実施しましょう。

### ◇駐車場の除雪・融雪は万全に。出入口には転倒防止の対策を！

駐車場内、駐車場から職場までの通路を確保するため、除雪や融雪剤の散布を行いましょう。また、出入口には転倒防止用のマットやヒートマットなどを敷き、夜間は照明設備を設けて明るさ（照度）を確保しましょう。



<ヒートマットの設置例>

### ◇職場の危険マップの作成、適切な履物、歩行方法などの教育を行う

職場内の労働者が転倒の危険を感じた場所の情報を収集し、労働者への教育の機会に伝えるようにしましょう。また、作業に適した履物、雪道や凍った路面上での歩き方を教育しましょう。

詳しくは、厚生労働省ホームページをご覧ください！

「STOP！転倒災害プロジェクト」

STOP！転倒

検索

# あなたの職場は大丈夫？転倒の危険をチェックしてみましょう

## 転倒災害防止のためのチェックシート

| チェック項目 |                                             | <input checked="" type="checkbox"/> |
|--------|---------------------------------------------|-------------------------------------|
| 1      | 通路、階段、出口に物を放置していませんか                        | <input type="checkbox"/>            |
| 2      | 床の水たまりや氷、油、粉類などは放置せず、その都度取り除いていますか          | <input type="checkbox"/>            |
| 3      | 安全に移動できるように十分な明るさ（照度）が確保されていますか             | <input type="checkbox"/>            |
| 4      | 転倒を予防するための教育を行っていますか                        | <input type="checkbox"/>            |
| 5      | 作業靴は、作業現場に合った耐滑性があり、かつちょうど良いサイズのものを選んでいませんか | <input type="checkbox"/>            |
| 6      | ヒヤリハット情報を活用して、転倒しやすい場所の危険マップを作成し、周知していますか   | <input type="checkbox"/>            |
| 7      | 段差のある箇所や滑りやすい場所などに注意を促す標識をつけていませんか          | <input type="checkbox"/>            |
| 8      | ポケットに手を入れたまま歩くことを禁止していますか                   | <input type="checkbox"/>            |
| 9      | ストレッチ体操や転倒予防のための運動を取り入れていますか                | <input type="checkbox"/>            |

チェックの結果はいかがでしたか？ 問題のあったポイントが改善されれば、きっと作業効率も上がって働きやすい職場になります。

どのように改善するか「安全委員会」などで、全員でアイディアを出し合いましょう！

